

未来につなげよう！

農林水産省は、未来のこどもたちの「食」を守るため、SDGsや環境の問題を考え、持続可能な日本の農業を大切にする取組「みどりの食料システム戦略（せんりゃく）」を進めています。

農業に必要な資材の調達から農産物の生産、加工・流通、消費に至るまで、環境への負荷を減らす目標をつくっています。

2050年までの目標

- ・ 農林水産業のCO2ゼロエミッション化の実現
- ・ 化学農薬・化学肥料の50%・30%削減(さくげん)
- ・ 有機農業耕地面積の25% (100万ha) 拡大など



未来のことを考えた農業を実践する
高校生の取り組みを紹介します。

宮崎県立宮崎農業高等学校



G7 宮崎農業大臣会合の視察を受けた時に説明した英語のパネルと生徒のみなさん



研究・栽培中のアールスメロン



研究実習を指導する井上先生

未来につなげよう！

生産流通科 野菜流通班 のみなさんは、
人と環境に優しい農業を研究・実践しています。

研究の内容

- 宮崎県は、焼酎(しょうちゅう)の生産量全国1位です。利用されない「焼酎粕(かす)」を使って土壌の消毒を行っています。
- また、すぎ丸太の生産が全国1位の林業県でもありますが、「杉皮」などたくさんの廃棄物の処分に困っています。その廃棄(はいき)物で作られた肥料を使い、生産へリサイクル活用しています。
- 土の面を高くした「隔離(かくり)ベッド」で、アールスメロンを栽培することで、作業の手間を減らすことを実現しています。

<実践結果>

- 化学農薬を半分にし、肥料は、すべて有機質の肥料にすることができました。
- 作業時間を90%減らすことができました。



生徒のみなさんの声

・ G7各国の農業大臣に視察してもらい、日本の農業高校がどんなことをしているのかを知ってもらい、嬉しかったし大変貴重な体験になりました。

・ 無駄が少ない日本の農業が素晴らしいことをアピールできたと思います。

・ 海外の農業の現状も知ることができました。

・ 各国の大臣から積極的に話しかけてくれましたが、思いを伝えられないところもあり、これからもっと英語力を身につけていきたいと思っています。

・ 農業は地道な作業ばかりですが、やってみるとすごくやりがいがあります。興味のある人はぜひ来てほしいです！8月にはオープンスクールもあります。